第十一講・ロシアパン②（物語文）

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「おい、お前のところにスパイがいるぞ。」
と言った。
「おれのところにそんな者はいないよ。」
わたしがそう言うと、同級生たちがまた言った。
「いるじゃないか。お前の家の裏（うら）に。」
「あのロシアパンさ。あいつはスパイだ。」
まるであたりまえのことだというようにして言うのだった。
「スパイだかなんだか、分からないではないか。」
「スパイだよ。」
「なぜ？」
「大人だって、みんな言ってるぞ。」
「どんなスパイをしたんだ。」

わたしがロシアパンはスパイだと言わないのを見ると、みんなおどろいたようにして顔を見合わせた。
そして、同級生の一人が、
「こいつ、スパイの仲間だぞ。」
と言った。
「そうだ。」
「そうだよ。」
と、みんな、わたしがまるでスパイの本当の仲間のようなことを言った。そして、国のために悪いことをしたスパイに味方をするやつをこらしめてやろうというようにして、みんなでつめ寄ってくるのであった。今度はからかうのではなく、心からにくらしいというようにして、ののしるのだった。
わたしは、本当に、はらを立てていた。わたしは、だまって学校から帰りながら、あの人のいいロシア人たちが、スパイのはずはないと思った。けれども、

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

あんなに大人たちまで言うのだから、半分は、どうだろうかと、考えたりしてくるのであった。

〈高橋正亮「ロシアパン」より〉

(1) ――線「スパイだかなんだか、分からないではないか」とありますが、「わたし」はなぜこのように言ったのですか。次の文の□にあてはまる言葉を、文中からぬき出しなさい。

ロシア人たちのことを、□□□□□のようにスパイだと決めつけるのはおかしいと思ったから。

(2) ロシア人をスパイだとみとめない「わたし」に対し、ⓐ同級生たちはどのような反応をしましたか。また、ⓘ同級生たちの心情はどのように変わっていきましたか。ⓐは文中から十七字でぬき出し、ⓘは□にあてはまる言葉を文中からぬき出しなさい。

ⓐ

ⓘ　□□□□□□□□気持ちになった。

(3) 「わたし」の気持ちはどのように変化していますか。ふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　不快→いかり→疑い
イ　おどろき→悲しみ→いかり
ウ　疑い→悲しみ→後悔
エ　いかり→失望→悲しみ

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　**次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。**

ロシア人たちは、とうとう①家をたたんで、町からはなれることになった。

身の回りの物を、大きな包みにして背負(せお)った、そのすがたを見ると、本当に住む所もなく、世界じゅうの遠い国々をさまよって歩く外国人という気がして、心からかわいそうに見えてくるのであった。

ロシア人たちは、別れのあいさつをしに、わたしの家へ来た。そして、

②「ワタシハ、スパイデハ、アリマセン。」

と、わたしの父に言った。

わたしの父は、えがおを向けると、

「いつまでも、元気でくらしてください。」

そう言った。

母は、果物を持ってきて、子どもたちにあげた。

ロシア人は、また③何度も礼を言いながら、みんなに大きな手であく手した。だれもがみなえがおなのに、少しさびしい別れのあいさつであった。

ロシア人の家が取りこわされると、こんなちっぽけな所に、あの四人の家族がいたのかと思うような小さな空き地ができた。

大きなきりの葉が、白い秋の日の光を受けてかさかさゆれると、なにかその辺がものさびしく見えるのであった。そして、あの夕べのおいのりの声や、静かに歌う賛美歌の声が、どこからか聞こえてくるような気がしてくるのであった。

わたしは、今でもパンを買うたびに、あのロシア人の家族を思い出す。

〈高橋(たかはし)　正亮(せいりょう)「ロシアパン」より〉

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(1)　――線①「家をたたんで、町からはなれることになった」ロシア人たちを見て、「わたし」はどのように感じましたか。文中の言葉を使って、十五字以内で答えなさい。

(2)　――線②「『ワタシハ、スパイデハ、アリマセン。』と、わたしの父に言った」ときと、――線③「何度も礼を言いながら、みんなに大きな手であく手した」ときのロシア人の気持ちとしてふさわしいものを次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア　自分を信じてもらえないことに腹を立てる気持ち。

イ　自分を信じてもらいたいと強く願う気持ち。

ウ　自分が信じてもらえないはずはないと確信する気持ち。

エ　自分を信じてもらえたことをうれしく思う気持ち。

オ　自分は信じてもらえないだろうとあきらめる気持ち。

②　　③

(3)　ロシア人の家族がいなくなったあと、「わたし」はどのような気持ちになりましたか。文中の言葉を使って十字以内で答えなさい。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十一講・確認テスト

次の説明に当てはまるものを選びなさい。

1　短歌は何音から成り立っていますか。

ア　三十一音　イ　三十二音

ウ　三十三音　エ　三十四音

2　俳句は合計何音ですか。

ア　十五音　イ　十六音

ウ　十七音　エ　十八音

次の季語の季節を選びなさい。

3　朝顔

ア　春　イ　夏　ウ　秋　エ　冬

4　大根

ア　春　イ　夏　ウ　秋　エ　冬

5　みかん

ア　春　イ　夏　ウ　秋　エ　冬

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十一講　ロシアパン②（物語文）

一題目

(1) あたりまえ
(2) ㋐おどろいたようにして顔を見合わせた
　㋑心からにくらしい（気持ちになった。）
(3) ア

二題目

(1) （例）心からかわいそうに感じた。
(2) ②イ
　③エ
(3) （例）ものさびしい気持ち。

〈確認テストの解答〉

1 ア　2 ウ　3 ウ　4 エ　5 エ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。